

身近な自然に気づき、川と始める 川から始まるまちづくり ～川に近づき、川を利用、川で遊び、美しい川を創る～

①社会資本の概要

京橋川沿いの白潮公園には、広島市内で唯一、自然のままの河岸（土手）が残り、水質を浄化することで知られる貴重なアシ原と干潟が広がっています。汽水域であるその場所には多様な生物が息づき、休日には、地域の憩い・レクリエーションの場となっています。まさに、生き物と人のオアシスであり、都市と自然が融合する美しい景観が現存する貴重な場所となっています。

京橋川かいわいあしがるクラブは、この場所で、地域資源の保全・地域の活性化・まちづくり・人づくりに活かす活動に取り組んでいます。



京橋川沿いの干潟



環境に良いアシ保全のための、アシ刈り

②取組の背景、取組概要と創意・工夫

元々、山の森林保全活動を行う中で、子供たちに森づくりを教えていました。家から遠く離れた自然の中では伝えにくい場面もあることに気づき、上流域からではなく、私たちが暮らす下流域の街中から物事を考える機会が必要でした。そんな折、巨大葦舟を制作するプロジェクトに参加し、舟づくりの技術を学んだことを契機に、地域の葦原を生かした、環境教育を実行するようになりました。私たちにできることは、郷土愛をもって、希薄になっている自然との触れ合いを復活させ、身近な自然に親しみ、環境を良い方向に変えていく行動を始めることです。活動を始めてみると、この場所が思っていた以上に多くの生物が生息する大変貴重な場であることを認識でき、それを伝え続けたことで、多くの市民団体や企業、行政、大学生などが関わってくれるようになりました。お互いの連携により、ユニークなイベント展開ができ、結果として環境づくり、まちづくり、人づくりなどの波及効果が現れるようになっていきます。



活動のきっかけとなった、「アシ舟プロジェクト」



アシ舟づくりワークショップ

京橋川かいわいあしがるクラブ

③活動の成果や波及効果等

当初5人から始めた会が、活動は単体ではなく地域や他団体と共にとりという考えで行ってきた結果、少しずつ広がり、いまやイベントによっては300人を超える参加者が得られるほど成長しました。内容もアシ舟づくりから美化活動、おもてなしCAFE、慰霊碑周辺整備等、様々なプログラムを行ってきました。その結果、多くのNPOをはじめ、あらゆる年代の住民が参加してくれるようになり、地域財産の認識が向上しました。また、行政や学校、企業などから活動への参加希望者が増え、活動の認知度が増してきたことを実感しています。

これからもアシを活用し、地域づくり・人づくりを展開していきます。



干潟で行うとんど

学生たちによる川辺の文化祭運営

喜びの声



<受賞者>

京橋川かいわいあしがるクラブ
代表 山本 恵由美

<コメント>

できることをやるという「ハチドリの一滴」の思いで、広島を市民の手で守りたいと、地域と共にここまでやって参りました。

この受賞によって、これまでの活動を評価いただいたことは大変嬉しく、今後のやりがいやモチベーションに繋がります。これからも環境保全を通じ、広島のまちづくりや人づくりに勤しんでいきたいと思っております。

<活動内容>

川辺の文化祭、アシ舟づくり・カヌー体験、アシ刈り、とんど等。

<活動の経緯>

平成17年 クラブ設立

平成17年 春：川辺の文化祭、
夏：アシ舟づくり・カヌー体験、秋：アシ刈り、冬：
とんど という季節毎のイベントを確立。

◆所在地

広島県広島市

◆活動主体及び連絡先

京橋川かいわいあしがるクラブ

(082-221-1080 代表 山本 恵由美)

◆対象となる社会資本

(一級河川太田川水系) 京橋川沿い 白潮公園

※管理者：広島市

